２０１６年2月10日

摂南大学理工学部建築学科建築防災研究室

私市小学校5年生（交野市）に避難所運営訓練を実施しました！

日　時：２０１６年１月27日（水）（１０：４０～１２：２５）
場　所：交野市立私市小学校ランチルーム
参加者：交野市立私市小学校5年生６４名
ファシリテーター補佐：大学院生１名＋建築学科学生１２名＋教員１名（合計１４名）

今回の見どころ

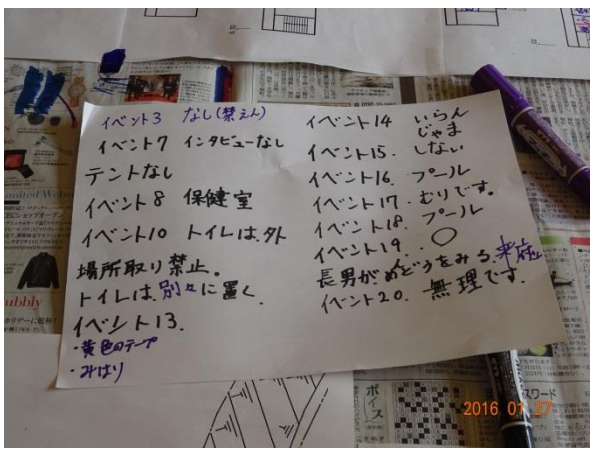
私市小学校（交野市）を避難所とする私市山手自主防災会では、防災に関する自主企画に取り組み、継続的に活動されています。摂南大学では、大阪府のご紹介で2013年度に私市山手自主防災会が主催された防災訓練のお手伝いをさせて頂き、その後、摂南大学の取り組みもご見学頂くなど関係を深めてきました。地域が主体性を持って防災活動を継続的に行うことは難しく、私市山手自主防災会の取り組みは常に注目してきました。2015年10月、私市山手自主防災会が主催した災害訓練に、摂南大学生が図上訓練の進行補佐をさせて頂く機会がありましたが、その際、校長先生から「小学生にもできるかな」とお声掛け頂きました。その3か月後、小学5年生にHUGをするために、再び私たちは私市小学校を訪れたのです。

プログラム実施風景

避難者が続々とやってきます。避難所内にはきちんと通路を通しました。

糖尿病って何？総理大臣が来るのはなぜ？次々疑問がわき起こります。

今回説明役を担当した学生は、班も担当しました。疑問には丁寧に答えます。



「決まったことをメモに書こうよ」と呼びかけたところ、各班とてもきれいにまとめてくれました。

最後に「災害時、自分に何ができそうか」発表してもらいました。「避難所を手伝う！」といった意見もありました。

学生からもコメント。「一生懸命取り組んでくれてありがとう。小学生の発想に驚きました」とのことでした。

プログラム実施結果

後日、校長先生から「感想文」を頂きました。多くの意見は、避難者の配置やペットの居場所の決定の難しさでした。また、「病気の人は大変」や「自分たちにできることをしないといけない」など、子供たちが自分の身に置き換えて考えてくれたことがよくわかりました。防災は“わがこと感”が重要と言われます。HUGは楽しく（難しい）ゲームですが、“学び”の要素を感じてもらえればうれしいです。最後に、感想文には摂南大学生たちへの温かいお礼の言葉がたくさんありました。こちらこそ、どうもありがとう！　*池内先生より*

取り組んでいただいた私市小学校5年生の皆様さん、ありがとうございました。また、給食を皆さんと一緒に食べたこともとてもいい思い出になりました。本プログラム実施に際し、私市小学校の先生方、交野市役所の皆様、私市山手自主防災会の皆様にご尽力頂きました。心から感謝申し上げます。